

1－(1) これからの北海道立近代美術館検討会議について

資料1

名 称 **これからの北海道立近代美術館検討会議**（令和4年1月12日北海道教育委員会教育長決定）

趣 旨 ○ 老朽化した近代美術館について、施設整備方針の検討が必要なことから、これまでの美術館活動を検証するとともに、求められる役割や今後のあり方について、有識者から意見聴取を行う。

検討事項

- これまでの美術館活動の検証（現状、課題の整理）
- これからの美術館に求められる役割
- これからの美術館の活動コンセプト、必要な機能（展示、収集、教育普及、調査研究、学校連携など）
- 美術館の整備の考え方、運営方法のあり方
- その他近代美術館に関し必要な事項

■ 構成員 ◎＝座長

（敬称略、順不同）

区 分	職 ・ 氏 名	考 え 方
有識者	北海道大学 名誉教授 北村 清彦	美学・芸術学に関する研究者、近代美術館協議会会長
	株式会社haku 代表取締役 菊地 辰徳	まちづくり・若者・地方からの視点、R2ほっかいどうチャレンジピッチ参加者
	北海道大学大学院 教授 佐々木 亨	博物館経営に関する研究者
	北海道教育大学釧路校 教授 佐々木 宰	美術教育に関する研究者
	札幌芸術の森美術館 館長 佐藤 友哉	美術館活動に関する研究者
事務局	◎ 教育庁 生涯学習推進局長 相内 修司	
	文化財・博物館課	課長、課長補佐、主幹、主査
	近代美術館	副館長、学芸副館長、総務企画部長、学芸部長、学芸統括官、企画総務課長

★議論の状況に応じて、適宜、構成員以外の者の出席を求める

今後の進め方

区 分	時期 (予定)	検 討 内 容	
		美術館活動	施設整備のあり方
第1回	R 4 2月1日	○ これまでの経過、今後の進め方 ○ 現地調査	
第2回	3月1日	○ これまでの美術館活動の検証	
第3回	4月	○ 今後求められる役割	民間事業者等からの提案募集 ・美術館を整備する場所など ①現施設を活用 ②現敷地内での建替 ③移転
第4回	6月	○ 近代美術館のコンセプト、必要な機能	
第5回	8月	○ 施設整備の考え方、運営方法のあり方	民間事業者等からの提案を踏まえ、 美術館利用者や近隣住民等、 道民からの意見聴取
第6回	10月	○ 検討内容の整理	
第7回	12月	○ 開催結果のとりまとめ、修正	
第8回	R 5.2月	○ 開催結果（完成）	

○検討の方向性

従来の総合的な業績測定型評価から、重点的な目標設定型で、PDCAサイクルを明確にしやすい評価への転換を図る。

○現在の評価システム

美術館活動の基本である「収集保存」「展示」「調査研究」「教育普及」のほか「地域文化」「滞在空間」の6つのカテゴリーを目標値を定めた25の定量評価指標と27の定性評価指標で評価。

<課題>

業務を適切に行っているかどうかの検証に止まっており、評価の目的である「PDCA」サイクルを通した改善に結び付いていない。

○検討中の評価システム

【長期目標】「めざす姿・使命」を設定

【中期目標】令和5～9年度の5年間に取り組む目標を設定

【毎年度】

- ・年度当初 年度の「重点目標」を設定し、重点目標毎に「現状と課題」「評価項目」「具体的方策」「評価指標の作成」を設定
- ・年度末 「評価項目の達成状況」「次年度への課題と改善状況」を評価

◇評価様式(案) 重点目標等

中期 目標 項目 の 目	重点目標〔令和 年度〕 ※中期目標に関連しつつ焦点を絞った 取組	現状と課題	評価項目	具体的方策	評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策

年度当初に設定
年度末に記載

○今後の進め方

- ・ 令和5年度の運用開始を目指し、道立美術館全体で評価システムの検討・確定
- ・ 各館で長期目標・中期目標の策定
- ・ 各館で令和5年度重点目標の設定

① 令和3年度展覧会事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
休止5月1日(土)～7月4日(日)												臨時休館 1月24日(月)～3月25日(金)		
近美コレクション 展示室A	1階	4月17日(土)～7月4日(日) [68日間] コレクション・ストーリーズ 北海道の美術 新収蔵品展 ～5月23日(日)			7月17日(土)～9月1日(水) [40日間] コレクション・ストーリーズ エコール・ド・パリ		9月15日(水)～11月7日(日) [48日間] コレクション・ストーリーズ 日本近代の美術		11月17日(水)～1月7日(日) [101日間] コレクション・ストーリーズ ヨーロッパの版画 オブ・アート		1/24-2/4 休館 ～4月3日(日)			
		コレクション・ストーリーズ 現代ガラス			三岸好太郎 師、友、同士とともに		アートギャラリー北海道 道銀芸術文化奨励賞 受賞作家展		コレクション・ストーリーズ アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス					
	この1点を見てほしい	山本正年 〈虞〉	ハイム・スーチン 〈祈る男〉	キース・ヴァン・ドンゲン 〈ガッテ・ヴァン・グ ヴェスチンの肖像〉		本間紹夫 〈室内〉		深井克美 〈2時37分〉		吉川霊華 〈太上老君〉				
特別展 展示室B	[実行委員会展] Tvh 日本浮世絵博物館秘蔵 国貞 広重 国芳コレク ション 絵師たちが見た江戸の楽しみ 4月17日(土)～6月20日(日) [48日間]			[貸館] 小原道城展		[実行委員会展] 道新 へそまがり日 本美術 禅画からヘタウマまで 7月17日(土)～9月1日(水) [40日間]		[貸館] 道新 御大典記念 よみがえる正倉院宝物 再現模造にみる天平の技 9月15日(土)～11月7日(日) [48日間]		[貸館] HBC HBC北海道放送 創立70周年記念 富野由悠季の世界 11月17日(水)～1月23日(日) [54日間]		[道単] 羽生輝展 2月5日(土)～3月21日(日) [39日間]		[貸館] 山口南州とわか葉会門流展
	休止5月18日(火)～6月20日(日)							羽生輝展／釧路芸術館 10月9日(土)～12月8日(水) [53日間]						
	1													

②展覧会の実施状況

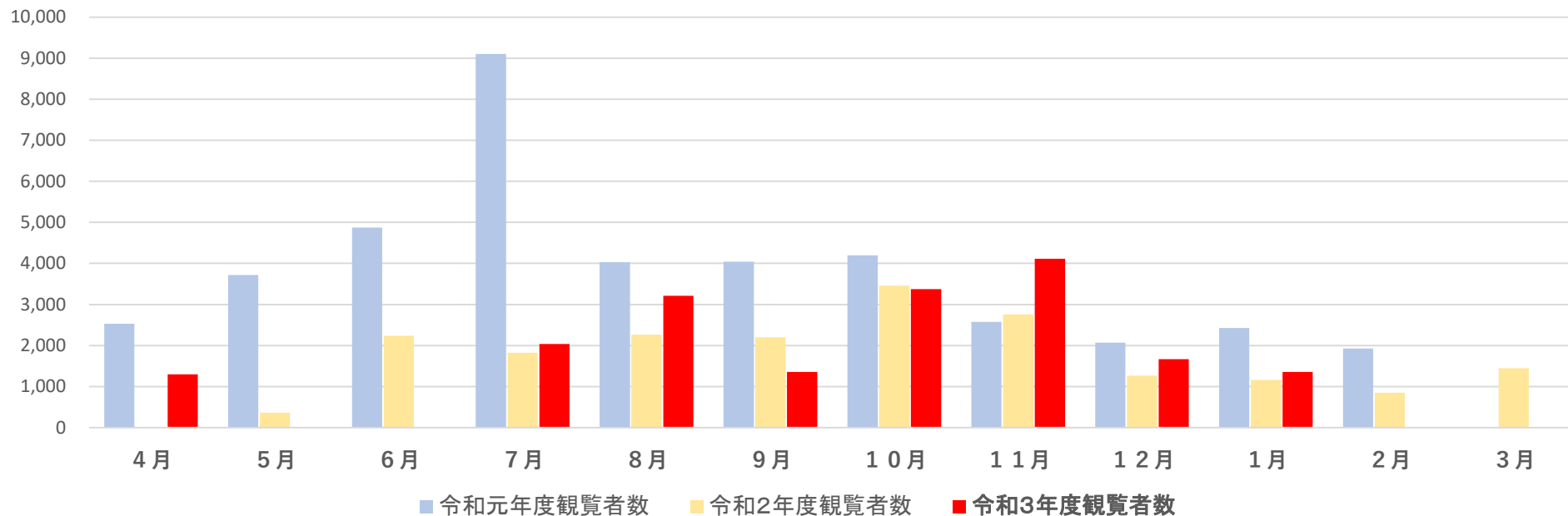
近美コレクション（常設展）

展覧会名		開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
第Ⅰ期	コレクション・ストーリーズ北海道の美術 現代ガラス／新収蔵品展	令和3年 4月17日（土）～ 4月30日（金） ※予定していた期間～7月 4日（日）	12	1,026	85
第Ⅱ期	コレクション・ストーリーズエコール・ド・パリ／三岸好太郎	令和3年 7月17日（土）～ 9月 1日（水）	40	5,380	134
第Ⅲ期	コレクション・ストーリーズ日本近代の美術／ アートギャラリー北海道 道銀芸術文化奨励賞受賞作家展	令和3年 9月15日（水）～11月17日（日）	48	7,745	161
第Ⅳ期	コレクション・ストーリーズヨーロッパの版画 オブ・アート アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス	令和3年11月17日（水）～令和4年1月23日（日） 令和4年 2月 8日（火）～ 4月 3日（日）	54	3,992	73
計			154	18,415	119

特別展

展覧会名		開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
国貞 広重 国芳コレクション		令和3年 4月17日（土）～ 5月16日（日） ※予定していた期間～6月20日（日）	24	5,824	243
小原道城展		令和3年 6月26日（土）～ 7月 4日（日）	8	4,342	543
へそまがり日本美術		令和3年 7月17日（土）～ 9月 1日（水）	40	15,873	397
よみがえる正倉院宝物		令和3年 9月15日（水）～11月 7日（日）	48	26,251	546
富野由悠季の世界		令和3年11月17日（水）～令和4年 1月23日（日）	54	15,604	288
羽生輝展		令和4年 2月 5日（土）～ 3月21日（日）			
山口南艸とわか葉会門流展		令和4年 3月26日（土）～ 4月 3日（日）	8		
計			(令和4年2月28日現在)	(174)	(67,894)
				(390)	

③近美コレクション（常設展）の観覧者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	収入額
令和元年度観覧者数	2,531	3,718	4,874	9,101	4,031	4,043	4,195	2,578	2,073	2,425	1,925	—	41,494	7,463,930
令和2年度観覧者数	—	364	2,241	1,825	2,268	2,200	3,459	2,758	1,265	1,164	849	1,450	19,843	4,066,656
令和3年度観覧者数	1,298	—	—	2,038	3,212	1,357	3,374	4,115	1,666	1,355	—	—	18,415	5,567,340

① 令和4年度の主な取組

A 優れた作品の収集と保管

- 美術品取得基金の活用取組
- 野外彫刻及び絵画作品の修復
- 作品の額のガラスを、低反射タイプに順次更新

B 多彩で特色ある展示活動の充実

- ※ 展覧会の内容については別途説明
- 作家研究を深め、展示内容に反映
- 近美コレクションをテレビCMなどで広告
- 移動美術館の開催（標茶町）

C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

- リモート・ミュージアム（動画コンテンツ）の作成・配信
- 児童生徒向けオンライン鑑賞教育の研究・実施（新規）

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- コレクション及び今後の展覧会等に関連した調査・研究とその成果の地域社会への還元
- 近代美術館リニューアルに関して、博物館学的視点からの調査・研究

E 地域文化の振興

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 学校に対して、自主研修など美術館の活用や鑑賞学習支援ツールの活用の周知強化
- 「アートギャラリー北海道」参加館のコレクション紹介や広報の相互協力

F 良好な滞在空間の提供

- 適切なコロナウイルス感染症対策の実施
- カフェと協働した取組を検討

全体に係わること

- コロナ後の来館者呼び戻しに向けた魅力アップ・プロジェクト（新規）
- 老朽化著しい施設設備の適切な点検・保守
- 近代美術館の今後のあり方の検討
- 令和5年度実施に向けた評価システムの見直し（新規）
- 令和5年度からの長期目標（10年間程度）と中期目標（5年間）の策定（新規）

② 令和4年度展覧会事業計画

北海道立近代美術館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
近美コレクション／展示室A	4月16日(土)～6月26日(日)【62日間】 【1階】日本画家 羽生輝展 悠久の岬を望む 【2階】 【この1点を見てほしい。】 吉川霊華〈太上老君〉			7月10日(土)～8月21日(水)【38日間】 【1階】新収蔵品展 時間をめぐって 【2階】  アートギャラリー北海道 没後100年 中原悌二郎展		9月3日(土)～11月7日(日)【57日間】 【1階】『北の美のこころ』を携えて 【2階】国際ガラス年2022関連企画 現代ガラスの美		11月22日(火)～1月22日(日)【49日間】 【1階】砂澤ビッキ展 【2階】		2月11日(土)～4月9日(日)【50日間】 年度内42日 【1階】シャガール・イン・プリント 【この1点を見てほしい。】 伊藤隆介くこんなことは無かつ 【2階】戦時下の北海道美術 ～画家たちは戦地で何を見たのか		
	特別展等／展示室B	【貸館】UHB UHB北海道文化放送開局50周年・北海道新聞創刊80周年記念事業 ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀オランダ絵画展 4月22日(金) ～6月26日(日) 【57日間】			【実行委員会】道新 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展 7月10日(日) ～ 8月21日(日) 【38日間】		【実行委員会】TVh 北海道新聞創刊80周年 聖徳太子1400年御遠忌記念 国宝・法隆寺展 9月3 日(土) ～10月30日(日) 【50日間】		設備メンテナンスのため休室		【貸館】 STV サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史 2月11日(土) ～4月2日(日) 【44日間】	
巡回等	【貸館】 山口南艸の書と わか葉会門流展 ～4月3日(日)											
三岸美術館関連	特別展  アートギャラリー北海道 1920's—1930' s 三岸好太郎が生きた時代 7月16日(土)～9月25日(日)  アートギャラリー北海道 #みまのめ(VOL.8) 10月8日(土)～12月4日(日)											

③ 令和4年度 教育普及活動計画

北海道立近代美術館

【解説活動】 (通年)	■ ミュージアム・トーク	/ 当館学芸員が、一般来館者を対象に館内展示中の作品について詳しく講話する(約30分)。 日曜 午後2時～
	■ 子ども鑑賞ツアー	/ 当館学芸員が「近美コレクション」(展示室 A)で、小学生を対象に対話形式で作品を紹介する。 代替企画として、オンラインでの導入番組配信、HPからのダウンロード用ワークシートをリンク
	■ ワークシート	/ 当館の代表的な所蔵作品についてワークシート(設問式の解説書)を整備し、主に「近美コレクション」(展示室 A)に設置する。
	■ ギャラリー・ツアー	/ 北海道美術館協会ボランティアが「近美コレクション」(展示室 A)で、展示中の作品について解説する(約30分)。 火～土：午前11時30分～(1階)、午後1時～(1階)、午後2時～(2階) 日・祝日は実施なし
	■ アート・レファレンス・サービス ARS / ● 質問コーナー：火～土 午前10時30分～午後3時 ● ビデオ・ライブラリー ● 図書コーナー	
	■ 北海道リモート・ミュージアム	/ 学芸員による展覧会解説のオンライン配信(YouTube)。随時制作予定。
【主催事業】 (適時)	■ 「講演会」「講座」「作品解説」など、展覧会関連事業を随時実施する。	
	■ 夏休みや冬休み期間中の子どもや家族を対象としたワークショップなど、多彩な自主事業を実施する。	
	■ 「移動美術館」「道立美術館オンライン・アート教室(仮)」など、館外での事業を実施する。	
【連携・協力事業】 (適時)	■ 北海道美術館協会との連携・協力	/ 「美術講座」「美術講座プレミアム」「ジュニア・アートクラブ」などに協力するほか、ボランティアの活動を随時支援・助言する。
	■ 学校教育との連携・協力	/ 「指導者研修」「博物館実習(館園実習)」「学芸員インターンシップ」「美術体験充実事業(鑑賞学習支援ツール)」などの連携事業を行なうほか、「自主研修」「職場体験学習」「博物館実習(見学実習)」などの受け入れを随時行なう。
	■ 三岸美術館・知事公館との連携・協力	/ 「ぐるっと三館鑑賞ツアー」など
2022. 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2023. 1 2 3		
4月16日(土)～6月26日(日) 日本画家 羽生輝展		
4月22日(金)～6月26日(日) フェルメールと17世紀オランダ絵画展		
7月10日(日)～8月21日(日) 新収蔵品展 / 時間をめぐって		
7月10日(日)～8月21日(日) 古代エジプト展		
9月3日(土)～11月7日(日) 『北の美のこころ』を携えて / 現代ガラスの美		
9月3日(土)～10月30日(日) 国宝・法隆寺展		
11月22日(水)～1月22日(日) 砂澤ビッキ展		
設備メンテナンスのため休室		
2月11日(土)～4月9日(日) シャガール・イン・プリント/戦時下の北海道美術		
2月11日(土)～4月2日(日) サンリオ展		
7/22 カルチャーナイト		
11/1-7 芸術週間		
← 【解説活動】 ミュージアム・トーク、子ども鑑賞ツアー、ワークシート、ギャラリー・ツアー など →		
3館ツアー 6月		
夏休み期間中事業 ワークショップ など		
冬休み期間中事業 ワークショップ など		
美術講座 5月19日～8月4日(全10回)		
アートクラブ 7月		
博物館実習(館園実習) 8/2(火)～10(水) (日・月のぞく7日間)		
移動美術館 (標茶町) 9月下旬～10月上旬		
美術講座プレミアム 9月～10月(全5回)		
ジュニア・アートクラブ 11月		
道立美術館オンライン・アート教室(仮) 近隣管内数校 7月～12月		
指導者研修 8月		
指導者研修 1月上旬		
アートクラブ 2月		
北海道リモート・ミュージアム (YouTube で配信)		
← 【学校教育との連携・協力】 自主研修、職場体験学習、博物館実習(見学実習) など →		
【三岸美術館・知事公館との連携・協力】 ぐるっと三館鑑賞ツアー など		

④ 令和４年度美術館事業費予算一覧

(千円)

事業名	令和３年度 予算額 (a)	令和４年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘要
展覧会事業費 (アートギャラリー北海道事業費を含む。)	30,392	28,675	▲ 1,717	・常設展（近美コレクション）及び特別展にかかる経費。 ・特別展の実施回数は６回 (うち、実行委員会による展覧会：２回、道単独開催による展覧会：２回、貸館による展覧会：２回)
教育普及・調査研究資料収集費	659	717	58	・美術講演会、普及活動のほか、資料調査収集等を行う経費。
移動美術館	4,898	3,253	▲ 1,645	・今年度は、１会場（標茶町）で実施。
親子ふれあい芸術体験事業	205	205	0	・親子で美術館を楽しめるワークショップなどを行う経費。
収蔵作品特別緊急修復事業	6,385	6,241	▲ 144	・作品修復を行う経費。
作品収集費	10,000	10,000	0	・北海道美術品取得基金の積み立てに要する経費。
来館者サービス向上事業	1,700	0	▲ 1,700	・ロビー展示など来館者へのサービスを行う事業。
「美の拠点」ネットワークプロジェクト	9,603	0	▲ 9,603	・作品解説の翻訳料、日本文化鑑賞、体験 (国庫補助事業：文化クラスター推進事業)
【繰越明許費】 デジタル・北海道アートミュージアム事業費	6,000	0	▲ 6,000	・ホームページリニューアルの経費
計	69,842	49,091	▲ 20,751	

○令和3年度実施

- ・特別展示室吹抜上部屋根改修（断熱と防水）
- ・給排水管更新（展示室及びホール、カフェ）

※給水管からの漏水事故について

日 時 11月22日(月)<休館日>15時頃

場 所 東側講堂への階段天井裏の給水管

被 害 ホール部全面浸水（展示室内へ一部浸水、展示作品に被害なし）、
床に置いてあった商品が水につかる。

復 旧 給水管の漏水した部分の交換、ホール等の排水作業を行い翌23日は通常通り開館

○令和4年度実施予定

- ・特別展示室及び第一収蔵庫空調機改修（主要部品交換）
- ・空調設備中央監視リモートシステム部分更新
- ・収蔵庫用空冷チラー圧縮機更新
- ・冷却塔充てん材更新
- ・変圧器等電気設備更新

○今後実施予定及び検討中

- ・常設展示室吹抜屋根及び第一収蔵庫屋根改修
- ・吸収式冷凍機更新
- ・エレベーター更新

北海道立三岸好太郎美術館



資料5-1 令和3年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

①令和3年度展覧会事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
展覧会	所蔵品展 第1期 4月4日(日)～4月11日(日) ※7日間 エキゾチック・イメージ ※R2年度より継続	所蔵品展 第2期(44日間) 4月24日(土)～6月13日(日) 4月24日(土)～30日(金) 色彩と衝動 —人物画を中心に— ■スポット展示 描かれた南部忠平	特別展(実行委員会STV)(58日間) 6月26日(土)～9月1日(水) 北菓楼30周年記念 貝殻旅行 —三岸好太郎・節子展—			所蔵品展 第3期(61日間) 9月15日(水)～11月23日(火) AGH事業 創立70周年記念 北海道銀行コレクション ■同時開催 三岸好太郎セレクション 《飛ぶ蝶》が絵本になった!			所蔵品展 第4期(80+6日間) 12月17日(金)～4月10日(日) 三岸が愛した札幌 ■同時開催／AGH事業 #みまのめ〈VOL. 7〉			
連携展示	3～6月 ミギシ・サテライト 北菓楼札幌本館における展示		6～9月 ミギシ・サテライト(貝殻旅行)			9～12月 ミギシ・サテライト			12～3月 ミギシ・サテライト			
普及事業			7月17日(土)～9月1日(水) 近美展示室A 2階 1～3室 (三岸と北海道の美術) 7月下旬～8月下旬 「たんけん美術館」 7月～8月 「貝殻旅行」展関連イベント ・講演会(道近代美講堂ほか) ・キュレーターズトーク ・スイーツ&トーク(北菓楼ほか)			10月～11月 みんなのアートプロジェクト 11/23(火) 読み聞かせ			12月末～1月中旬 「たんけん美術館」 冬休みの子ども向けプログラム 12/18(土) マーベル記念日 AGH事業 12～3月 「#みまのめ」アーティストトーク4回→モニターで上映 所蔵品展関連イベント (土曜セミナーまたは作品解説)			
音楽イベント						9～11月 —第227回ミニ・リサイタル— —第228回ミニ・リサイタル— 芸術週間美術館コンサート					2～3月 —第229回ミニ・リサイタル— —第230回ミニ・リサイタル— 子どもと楽しむコンサート	

*所蔵品展展示解説／火・土 午後1～3時（祝日および午後のイベント開催日を除く）解説：北海道美術館協力がボランティア

*図書コーナー／通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。

□講演会・セミナー／展覧会や作品のより興味深い鑑賞のため、ゲスト講師や学芸員によるトークやレクチャーなどを実施。

□音楽会／三岸の代表作〈オーケストラ〉にちなんで、展示室での演奏会。プロ演奏家のコンサートや若手のミニ・リサイタルほか。

□アニヴァーサリー／7月1日は開館記念日（記念品配布）

資料 5 - 1 令和 3 年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

②令和3年度展覧会事業

令和 4 年 2 月末日現在

(1) 所蔵品展

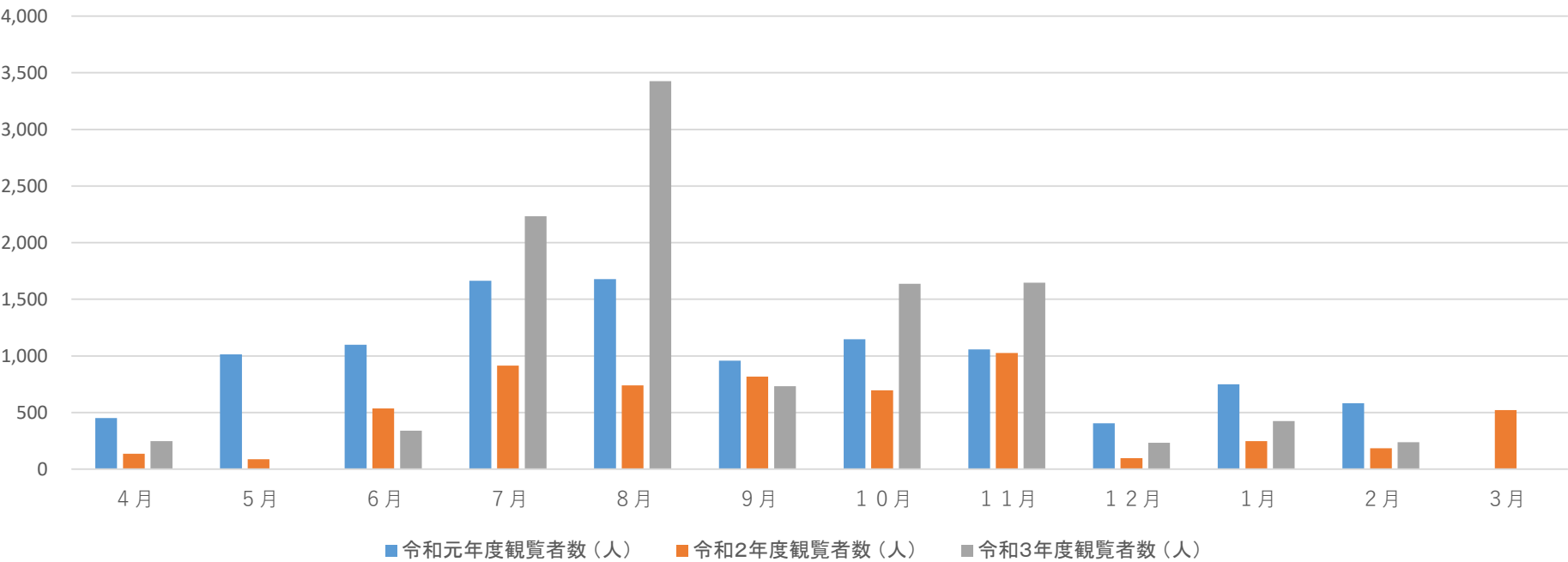
展覧会名		内容	開催期間	日数	観覧者数	
					期間計	1日当たり
第1期	エキゾチック・イメージ ー上海から道化へ ■スポット展示 「《赤い服の少女》が絵本になった！」	三岸の23歳での上海旅行はロマンティストとしての本質を目覚めさせ、「道化像」を生み出すきっかけになりました。独自の表現を切りひらいた20歳代後半までに焦点をあて、変貌の軌跡を探ります。 ■当館人気作《赤い服の少女》をモチーフに「おばけのマーブル」シリーズで知られる中井令、けーたろうが新作絵本を制作。物語を通じて、作品の魅力を紹介。	令和3年4月4日(日) ～11日(日)	7	165	24人
第2期	色彩と衝動—人物画を中心に ■同時開催 描かれた南部忠平	「赤色は激情、青色は冷徹、黄色は強靱なる意志力」……。三岸は色には感情に訴える強い力があると語っています。本展では人物画を中心に色と筆のタッチに注目しながら、作品の魅力に迫ります。 ■南部忠平(1904～1997)は、札幌出身でロサンゼルスオリンピックの三段跳金メダリスト。三岸が描いた南部の勇姿とともに、関連資料をご紹介します。	令和3年4月24日(土) ～6月13日(日) ～4月30日(金)	6	82	14人
第3期	アートギャラリー北海道 北海道銀行創立70周年 道銀文化財団創立30周年記念 北海道銀行コレクション ■同時開催 三岸好太郎セレクション ■スポット展示 《飛ぶ蝶》が絵本になった！	設立当初からメセナ活動に尽力してきた北海道銀行。その有数のコレクションから、三岸好太郎とともに独立美術協会の創立を担った作家の優品をご紹介します。 ■三岸好太郎の代表的な作品を紹介します。 ■三岸の代表作《飛ぶ蝶》をモチーフに絵本作家・すずきももさんが新作絵本を制作。物語を通じて、三岸作品の魅力を紹介。	令和3年9月15日(水) ～11月23日(火)	61	3,747	61人
第4期	三岸が愛した札幌 ■アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ VOL. 7	三岸が生まれ育った街・札幌。上京後も幾度となく訪れては画家仲間と交流し、移りゆく札幌の風景を描きました。昭和初期の札幌を映した9.5mmフィルム映像とともに、三岸のみつめた札幌を振り返ります。 ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ。油彩、版画、陶芸の分野で制作する4作家、三村紗瑛子、嶋崎由真、大泉力也、井川ゆきな表現世界を展覧します。	令和3年12月17日(金) ～令和4年4月10日(日)	86	894	10人
計				160日	4,888	31人

(2) 特別展

展覧会名		内容	開催期間	日数	観覧者数	
					期間計	1日当たり
北菓楼30周年記念 貝殻旅行 —三岸好太郎・節子展—		日本の近代洋画史上、最も有名な画家夫婦、三岸好太郎(札幌市生まれ/1903～1934)と三岸節子(愛知県生まれ/1905～1999)。二人が築いた鮮烈なる絵画世界を展覧します。	令和3年6月26日(土) 9月1日(水)	61	6,269	103人
計				61日	6,269	103人

資料 5 - 1 令和 3 年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

③観覧者数の推移



項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度観覧者数	(人)	450	1,013	1,098	1,663	1,679	958	1,148	1,057	405	749	581		10,801
令和2年度観覧者数	(人)	135	88	536	915	739	818	695	1,025	98	247	185	522	6,003
令和3年度観覧者数	(人)	247	0	340	2,233	3,427	732	1,637	1,647	233	424	237		11,157

資料 5 - 2 令和 4 年度事業実施計画（三岸好太郎美術館）

①令和 4 年度の主な取り組み

A 優れた作品の収集と保管

作品の額のガラスを低反射タイプに順次交換、あるいは新規取り付け。

B 多彩で特色ある展示活動の充実

展覧会の内容については、別途説明。

C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

三岸作品をテーマにした絵本制作のシリーズ化。3冊目の発行。

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

現存する三岸アトリエの調査を推進し、展覧会に反映。

E 地域文化の振興

コロナ禍で休止していた音楽会やトークイベントの再開を試行。
「アートギャラリー北海道事業」として、若手作家の表現活動を紹介。

F 良好な滞在空間の提供

適切な新型コロナウイルス感染症対策の実施。

資料5-2 令和4年度事業実施計画（三岸好太郎美術館）

②令和4年度展覧会、教育普及活動事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
展覧会	所蔵品展 第1期 4月5日(火)～10日(日) *6日間 三岸が愛した札幌 ※R3年度より継続	所蔵品展 第2期 (62日間) 4月23日(土)～7月3日(日) 100の素描		特別展 (62日間) 7月16日(土)～9月25日(日) 1920's -1930's 三岸好太郎が生きた時代 ■同時開催 アトリエへようこそ			所蔵品展 第3期 (51日間) 10月8日(土)～12月4日(日) 蝶を追いかけて ■同時開催／AGH事業 #みまのめ〈VOL. 8〉		所蔵品展 第4期 (84+6日間) 12月17日(土)～4月9日(日) デコポコンポジション ■スポット展示 《立てる道化》が絵本になった!			
連携展示		3～6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト		6～9月 ミギシ・サテライト		9～12月 ミギシ・サテライト			12～3月 ミギシ・サテライト			
普及事業				7月下旬～8月下旬 「たんけん美術館」					12月下旬～1月中旬 「たんけん美術館」 冬休みの子ども向けプログラム 12/18(日) マーベル記念日			
音楽イベント				7月～9月 「昭和モダン」 ・講演会 ・キュレーターズ・トーク			10～12月 AGH事業「#みまのめ」 ・アーティスト・トーク4回 ・キュレーターズ・トーク					1～3月 第229回ミニ・リサイタル 第230回ミニ・リサイタル 子ども楽しむコンサート
*所蔵品展展示解説／火～土 午後1～3時（祝日および午後のイベント開催日を除く） 解説：北海道美術館協会ボランティア *図書コーナー／通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。 □講演会・セミナー／展覧会や作品のより興味深い鑑賞のため、ゲスト講師や学芸員によるトークやレクチャーなどを実施。 □音楽会／三岸の代表作〈オーケストラ〉にちなんだ、展示室での演奏会。プロ演奏家のコンサートや若手のミニ・リサイタルほか。 □アニヴァーサリー／7月1日は開館記念日（観覧無料）												

資料 5 - 2 令和 4 年度事業実施計画（三岸好太郎美術館）

③令和 4 年度予算計画

支出

(千円)

項目			金額	備考
維持管理費			13,032	給与費除く
事業費	展覧会	常設展	7,546	AGH含む
		特別展	2,000	
	教育普及		268	親子ふれあい含む
	調査研究		78	
	維持運営費		1,324	
	その他		200	
	小計		11,416	
	計		24,448	

収入

(千円)

項目	金額
観覧料（常設展）	2,779
その他	4,947
収入計	7,726
一般財源（道費）	16,722
計	24,448